

2026年度名古屋大学大学院工学研究科博士前期課程
機械システム工学専攻，マイクロ・ナノ機械理工学専攻，航空宇宙工学専攻

受験に際しての注意事項

出願者は「学生募集要項」を必ず熟読し，さらに以下の点について注意してください。

(1) 出願について

入学者の選抜は「一般選抜試験（筆記試験・口頭試問）」により行います。学生募集要項を熟読の上，出願してください。入学志願票に記入漏れがないよう注意してください。

(2) 志望専攻について

機械航空系専攻内から志望専攻を第3志望まで，すべて選択してください。なお，研究室配属においては，専攻の志望とは関わりなく三専攻の全ての研究室を希望することが出来ます。研究室配属については，項目（8）を参照してください。

(3) 筆記試験について

1) 外国語

提出された TOEFL (Test of English as a Foreign Language) または TOEIC (Test of English for International Communication) のスコアに基づいて成績を評価します (項目 (5) を参照)。スコアシートを提出しない場合には，外国語 (英語) の試験は評価されませんが，出願は可能です。

2) 基礎部門

数学：線形代数，常微分方程式，微分・積分，初等ベクトル解析から出題，全問解答

3) 専門部門 下記5科目から3科目選択して解答

熱工学，流体力学，機械力学，制御工学，材料力学

- (a) 熱工学：熱平衡，理想気体と実在気体，熱力学第1法則，熱力学第2法則，熱サイクル，熱力学関数，相平衡と化学平衡，伝導伝熱，対流熱伝達
- (b) 流体力学：静水力学，質量保存則，運動量保存則，ベルヌーイの式，内部流れと損失，ナビエーストークス方程式とその層流解，境界層，揚力・抗力，次元解析と相似則
- (c) 機械力学：自由振動と強制振動，1自由度系の振動，固有角振動数，多自由度系の振動，モードベクトル，動吸振器，モード解析，ラグランジュ方程式
- (d) 制御工学：伝達関数および状態空間表現に基づく制御系の解析と設計
- (e) 材料力学：応力とひずみ，引張と圧縮，熱応力，トラス，組合せ応力，主応力，はりの曲げ，棒のねじり，柱の座屈，ひずみエネルギー

(4) 筆記試験免除について

募集人員の一部について、学業成績優秀者で、本専攻での勉学に高い意欲を持つ者に対して筆記試験免除を行います。筆記試験免除を希望する者は、学生募集要項「A【筆記試験免除者選抜】」を熟読の上、必要書類を添えて出願してください。筆記試験免除者の選抜は書類選考及び面接試験の2段階により行います。筆記試験を免除された受験者は一般選抜試験の口頭試問のみを受験することとなります。筆記試験を免除されなかった受験者は、一般選抜試験（筆記試験・口頭試問）を受験することとなります。なお、筆記試験免除を希望する志願者は、出願期間が筆記試験免除を希望しない志願者とは異なります。募集要項を熟読し、手続きをしてください。

(5) TOEFL/TOEIC スコアの提出に際しての注意点

【筆記試験免除者選抜】は学生募集要項「A-7 出願書類等」を、【一般選抜】は「B-7 出願書類等」を熟読の上、提出してください。

筆記試験免除者選抜において筆記試験を免除されなかった受験者については、TOEFL/TOEIC のスコアシートの再提出について学生募集要項「A-10 選抜概要」を熟読してください。

※参考

TOEFL/TOEIC に関する詳細は下記の Web サイトを参照するか、または試験の実施機関に問い合わせてください。

TOEFL : https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/

TOEIC : <https://www.iibc-global.org/toeic.html>

(6) 口頭試問について

- 1) これまで大学で学んだこと及び一般的事項について口頭試問を行います。
- 2) 実施方法及び日程については、【筆記試験免除者選抜】は学生募集要項「A-10 選抜概要」、【一般選抜】は「B-10 選抜概要」を参照してください。
- 3) 口頭試問は口頭試問実施期間の初日に行います。口頭試問の実施時間、会場等については後日工学研究科ホームページや各専攻からの専攻案内により通知します。

(7) 講座内容

講座、研究グループ構成、研究内容等については、機械航空系専攻ホームページ (<http://www.mae.nagoya-u.ac.jp/>) 及び「機械航空系専攻案内」を参考にしてください。

(8) 研究室配属について

8月上旬に出願者を対象に研究室配属のための希望調査を行います。別途「研究室配属の希望調査」に関する案内がありますので、期間内に希望研究室の登録を行ってください。

(9) その他

- 1) 試験中の携帯電話や電子辞書、IC レコーダー、電卓、スマートウォッチを含むウェアラブル端末等の電子機器類の使用は禁止です。時計代わりとしても使用できません。試験会場において、時計の貸し出しは行いませんので、留意してください。
- 2) 筆記試験では、基礎部門は試験開始1時間前までに、専門部門は試験開始30分前までにそれぞれ試験会場に入場してください。
- 3) 筆記試験では、早退は一切認められません。